

## 『登下校中に大きな地震が起きた場合の対応について』

### ○地震の揺れを感じたら

① 周囲の状況を十分に確認して、「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」「移動しやすいもの」から離れてしゃがむ。

② バッグなどで頭を守る

・屋根瓦、外壁、ガラス、看板の落下に注意するとともに、ブロック塀、電柱、電線、自動販売機からできるだけ離れる。崖・山崩れ、堤防決壊、液状化現象等にも注意が必要で、崩れそうな場所や水のそばからできるだけ離れる。

・自転車に乗っていたらすぐに降りる。

・橋や歩道橋の上にいる時は、動けるのなら早く渡りきる。

・バス・電車に乗っている時は、棚から荷物が落ちてこないか確認する。座っている時は、手すりや座席にしっかりつかまる。立っている時は、手すりなどにつかまるか、つかまれない時はしゃがむ。

※大規模な災害時は「むやみに移動を開始しないこと」が重要です。最寄りの安全な場所へ移動したら、まずは混乱が収まるまで待機しましょう。「遠くの自宅より近くで待機」です。

### ○地震の揺れがおさまったら

・がけや山崩れのおそれのある場所、河川、海岸からできるだけ離れる。高台に避難する。

・徒歩や自転車を使用している場合は、最寄りの避難場所に行く。

・公共交通機関利用者は、乗務員の指示・誘導に従う。

・避難後、登校するか、帰宅するか、その場で待機するかは、状況を判断して安全な行動を選ぶ。

○災害が起きる前に、学校から自宅までの徒歩での帰宅時間を計算したり、実際に歩いたりして確認しておく。また、家族の安否確認の方法や集合場所を決めておく。

○「南海トラフ地震に関連する情報（臨時）」が発表された際の授業等の取り扱いについて

・原則として授業等の教育活動については、継続します。

・本情報が発表された時は、地震への備えを再確認してください。